



レシプロコンプレッサー HX4004/コルト HX4009/ディーラー

取扱説明書

目次

はじめに	2
安全上のご注意	3
警告	3
注意	4
現品確認	4
付属品一覧	4
各部の名称	4
設置場所	5
配管	6
配線	6
運転準備	7
運転	8
日常運転の管理	9
保守・点検	10
基本仕様	10
故障の原因と対策	11
保証と修理サービス	12
修理サービスについて	12

この度は、お買いあげいただきましてありがとうございます。

- ご使用前に、この『取扱説明書』を必ずお読みください。誤ったご使用は、商品の故障や火災を引き起こす原因となります。お客様が商品をご使用された時点で、本書の内容を全てご理解いただいたことと判断させていただきます。
- 本商品は業務用ではありません。業務用としてご使用された場合や過剰な条件でご使用になられた場合に発生した故障は保証いたしません。また、生産補償・営業補償などの二次的損失も補償いたしません。
- コンプレッサは運転音が大きいため、住環境に合わせた設置場所・運転時間に十分配慮し、近隣の迷惑にならないようご注意ください。
- 本書が保証書を兼ねておりますので、表紙に購入年月日を記入してください。
- お読みになった後は、販売店が発行する証明書（販売証明書・レシートなど）と共に本書を手近な所に保管し、ご活用ください。

※ご使用前に必ず下表の空欄に必要事項をご記入ください。修理の際必要となります。

形式	
購入先	
購入年月日	年 月 日
使用開始日	年 月 日

はじめに

重要なお知らせ

ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みの上、この商品の正しい使用方法を完全に理解した方がみ
ご使用ください。

この取扱説明書には、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然
に防止するために守っていただく事項を示しています。

その表示と図記号の意味は次のようになっております。

	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、または物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

	記号は「注意すべきこと」を意味しています。 この記号の中や近くに、具体的な注意内容を表示します。 (左の例は電気遮断)
	記号は「してはいけないこと」を意味しています。 この記号の中や近くに、具体的な禁止内容を表示します。 (左の例は接触禁止)
	記号は「しなければならないこと」を意味しています。 この記号の中に、具体的な指示内容を表示します。 (左の例は必ずアース線を接続せよ)

補足表示

お願い	この記号は機械の性能や機能を十分に発揮してお使いいただくために守っていただきたい内容を示しています。
-----	--

■警告、注意の表示を無視して使用した場合の損害については、当社は一切責任を負えませんのでご了承ください。

■この商品の保証について

巻末に保証と修理サービスについての説明があります。必ずお読みください。

ドレンに関して

コンプレッサのエア（圧縮空気）には、ドレン（コンプレッサオイル[※]、タンク内の油分、大気中の塵埃や各種ガスおよび摺動部摩耗粉、空気タンクの錆、水滴など）が含まれます。

ドレンは、エアーモーターの故障、エアーブロー時のドレン飛散、塗装不良などの原因となりますので、ご使用の用途やご要求の品質によって、エアードライヤーやエアーフィルターをご使用ください。また、ドレンが空気タンク内に蓄積していると腐食が進行し、タンクの肉厚が薄くなり、破裂を引き起こす原因となります。

ドレンにより発生した故障・二次的損失は補償対象外となります。

※コンプレッサオイルはオイル式コンプレッサの場合に限ります。

安全上のご注意

⚠ 警告

揮発性ガス、引火性ガス（アセチレン・プロパンガスなど）・可燃性のない場所に設置してください。
※爆発・発火の原因となります。

安全な場所に設置する



点検の時は、必ず、手元開閉器（建物側スイッチ）を切ってください。
※感電の危険があります。

電気の遮断



アース工事を必ず行ってください。
※感電や火災の原因となります。

アースを接続する



空気以外の気体の圧縮には絶対使用しないでください。

※爆発、火災、破損、などの原因となります。

空気以外のガスの圧縮禁止



圧縮空気を直接吸引する呼吸器系の機器には使用しないでください。

※人体に重大な傷害を与える危険があります。

使用禁止



圧縮空気を人体に関わる設備に使用しないでください。
（使用する場合は必ず安全装置を装備してください。）

※人体に重大な損害を与える危険があります。

使用禁止



製品の改造や、設定圧力の変更はしないでください。
※破損事故や寿命低下の原因になります。

改造禁止



定期的に保守点検、整備をおこなってください。
（10ページ参照）

※保守・点検を怠るとコンプレッサーの寿命に大きく影響します。また保証の対象外となります。

保守点検実施



修理は専門の業者に依頼してください。
※修理に不備があると破損事故や寿命低下の原因になります。

修理依頼



屋外に設置しないでください。

※本製品は耐水構造になっていません。

電気系統に雨水がかかると漏電や火災事故を起こすおそれがあります。

屋外設置禁止



⚠ 注意

運転中や運転直後はホース継手部、シリンダーヘッドに直接手を触れないでください。火傷するおそれがあります。

高温注意
接触禁止



コンプレッサーの使用後は必ずドレン抜きを行ってください。

※ドレンを空気タンクにためておくとタンク内に錆を発生させる原因となります。

ドレン抜き実施



現品確認

- この商品の開梱する際は、輸送途中に損傷を受けていないか注意して調べてください。
また、ご注文通りの製品であることを確認してください。

◇ 付属品一覧

◎取扱説明書	1冊(本書)	◎六角レンチ	1本
◎クイックジョイント	1ヶ	◎車輪	2ヶ
◎エアフィルター	1ヶ	◎車軸	2本
◎ハンドル	1ヶ	◎バネ座金	2ヶ
◎ボルト(ハンドル固定用)	4本	◎コンプレッサーオイル	1本

※付属品がすべてあるか確認してください。

各部の名称

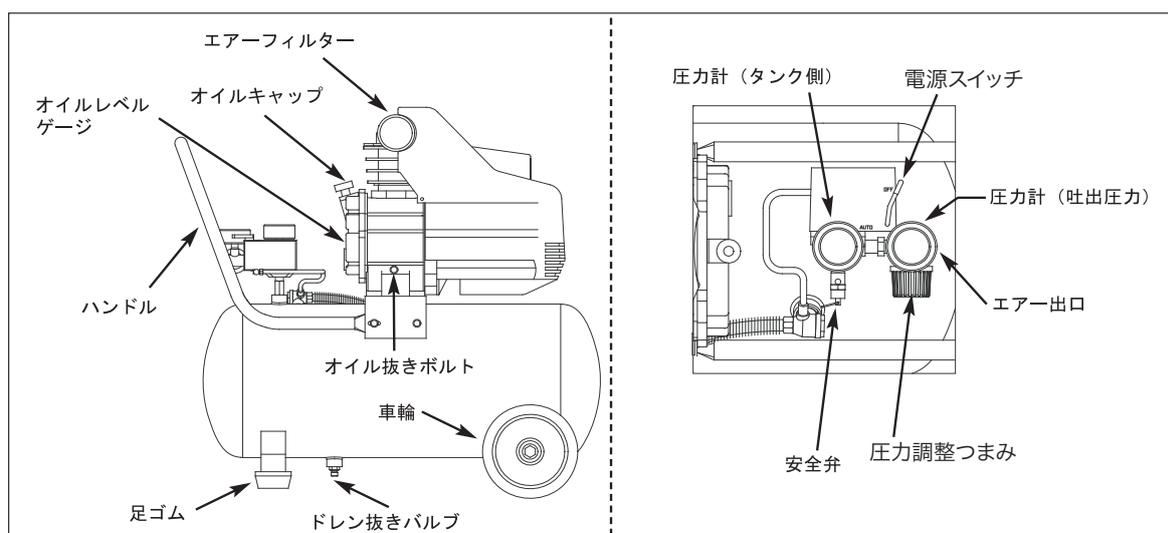


図1 各部の名称

設置場所

▲ 警告

- 室内で湿気の少ない場所に設置してください。

※海辺、雨水がかかる場所、上記が当たる場所では、電気系統の漏電や火災事故を引き起こす危険があります。



水気禁止

▲ 警告

- 近くに灯油、ガソリン、揮発性ガス、引火性ガス（アセチレン・プロパンガス）等の可燃性のない場所に設置してください。

※不適切な場所では、爆発・発火事後の原因となります。

- 腐食性ガスのない場所に設置してください。

※腐食性ガスの雰囲気での使用は、圧縮機の寿命低下・破損・火災の原因となります。



安全な場所に
設置する

▲ 注意

- 直射日光が当たる場所に設置や保管をしないでください。

- 周囲温度は、5℃～38℃でご使用ください。

※5℃以下の使用は、ドレンの凍結や圧縮機各部の作動不良が発生する原因となります。

※38℃以上の使用は、圧縮機部の摩耗を早め、寿命低下や発火事故の原因となります。



規定温度で
使用する

▲ 注意

- 本商品は空冷式のため、通気性の良い場所で使用してください。

※工具棚の下に設置したり、段ボールやベニヤ板などを立て掛けたり、布などで覆ったりしないでください。通気性の悪い条件で使用された場合、冷却効果を失い、寿命低下や発火事故の原因となります。

- 水平（傾斜2°以内）で基礎がしっかりしている場所に設置してください。

※設置が不安定な場合、異常振動や異音、故障の原因となります。



設置場所注意

▲ 注意

- ゴミやほこり（塗料も含む）の少ない場所で使用してください。

※ゴミやほこりがモーターのコイルに付着し、蓄積するとモーターが発火する原因となります。

※コンプレッサが鉄粉、石粉、研磨粉、木屑などを吸い込むと、吸込フィルターの目詰まりや圧縮機内部の故障の原因となります。



塵埃のない場所に
設置する

※上記を満たさない条件でご使用になられた場合は、購入日に関わらず保証はできません。また、不具合により発生した二次的損失も補償いたしません。

配管

▲注意

古くなったエアークホースは継手部が外れたりする可能性があり危険ですので交換してください。
また、損傷したエアークホースは破裂するおそれがありますので速やかに交換してください。

配線

◎電源コードは直接コンセントに接続してください。

▲注意

細い径の延長コード、タコ足配線、他の電気製品との併用はしないでください。
モータに十分な電流・電圧が流れないとコンプレッサが起動しません。

作業する場所とコンプレッサが離れている場合は、長いエアークホースを使用することを推奨します。エアークホースの内径はφ8.7mmで接続ネジは1/4インチが最適です（10m以下であれば、ホース内径φ6mmでも可能です）。

50m以上のエアークホースを使用する場合は、内径φ12mm以上のホースを使用してください。

やむを得ず延長コードを使用する場合は、表に従ったコードを使用してください。

形式	配線太さと長さ	ヒューズ容量	モータ電流値
HX4004 HX4009	3.5mm ² 20m以下	30A	14A

▲注意

延長コードを使用する場合は、コードの太さと長さを上表に従ってご使用ください。

上表に従わない場合は、電圧が低下し起動不良によるモータの焼損や火災を引き起こす原因となります。不十分な電源状況により発生した故障や損傷は保証対象外となります。

モータの保護装置が作動した場合は、11ページの『故障の原因と対策』を参照してください。

◎発電機使用の場合

起動時は瞬時ではありますがモータ電流値の約4倍の電流が流れます。したがって、発電機はこれに対応できるものが必要となります。目安としては3.3kVA以上とし、実際の使用にあたっては発電機メーカーにご相談ください。

運転準備

ハンドルの取り付け

図2のように空気タンクのベースにハンドルを差し込み、空気タンクにある通し穴からボルトを差し込み、ハンドルを固定してください。

※ボルトを過剰に回し過ぎないでください。

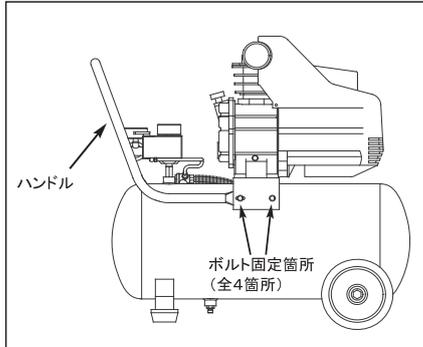


図2 ハンドルの組立

エアフィルターの取り付け

吸込み口にエアフィルターを取り付けてください（4ページ「各部の名称」を参照してください）。

車輪と足ゴムの取り付け

図3のように車輪をしっかりと取り付けてください。足ゴムを取り付けてください。

※車輪の向きにご注意ください。

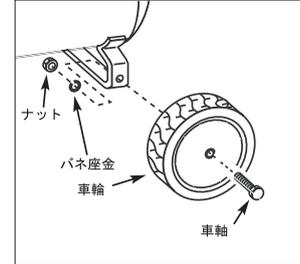


図3 車輪の組立

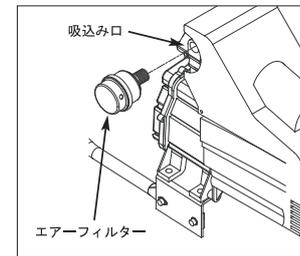


図4 エアフィルターの取り付け

クイックジョイントの取り付け

クイックジョイントを圧力調整つまみに取り付けてください（4ページ「各部の名称」を参照してください）。

お願い

- ねじ部はテーパードねじとなっていますので、過剰にねじ込まないでください。ねじ部を最後までねじ込むとエア出口が破損します（保証対象外）。
- エアが漏れる場合、ねじ部に市販のシールテープを巻いてください。

コンプレッサーオイルの注油とオイル量の確認

- オイルキャップを手で回し、取外してください。初めてご使用になられる場合、オイル注油口の栓を外してください。
 - オイル注油口よりコンプレッサーオイルを約380ml入れてください。
 - オイルレベルゲージをのぞき、コンプレッサーオイルがゲージの中心（赤色）の位置になることを確認してください。
- ※ コンプレッサーオイルの管理を怠らないでください。オイルが少量ですとクランク軸の焼き付き、多量ですとオイルの噴出しの原因となります。
- オイルキャップを注油口に取り付けてください。
- ※ オイルキャップなしで運転しないでください。

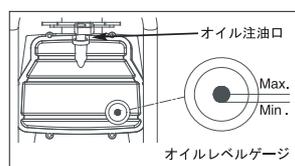


図5

オイル量	約380ml
------	--------

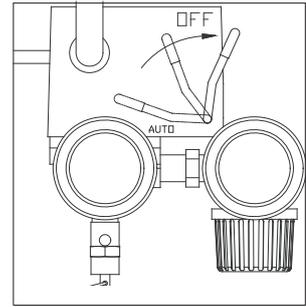
運転

① 電源スイッチ操作

電源スイッチを「OFF」にしてください。(図6参照)

※コンプレッサの運転・停止は必ず電源スイッチにて行ってください。

図6

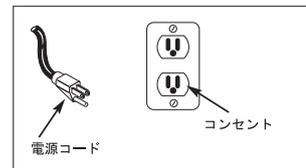


② 電源コードの接続

プラグをコンセントに接続してください。(図7参照)

※延長コードを使用する場合は、必ず6ページの表に従ってください。

図7



③ 運転

電源スイッチを「AUTO」にしてください。(図8参照)

【ご購入後初めて運転される場合】

● 電源スイッチを「AUTO」にしてください。

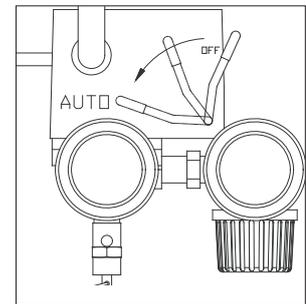
異常音、異常振動がないか確認してください。

● 空気タンク内の圧力が上昇し、自動停止することを確認してください。タンク側圧力計を参照ください。

● ドレン抜きバルブAを開き、エアーを徐々に抜いてください。(図9参照) コンプレッサが再始動することを確認してください。

※ 問題や異常がある場合は、11ページの「故障の原因と対策」を参照してください。

図8



④ 吐出圧力の調整

吐出圧力は圧力調整つまみBのノブにより調整することができます。

ご使用になられる用途(エアーツール、スプレーガン等)に合わせ調整を行ってください。(図10参照)

※ 圧力調整を行う際は、エアーツール等を使用しながら(エアーを抜いた状態)行ってください。

● 時計回りにノブを回す・・・吐出圧力が上がる。

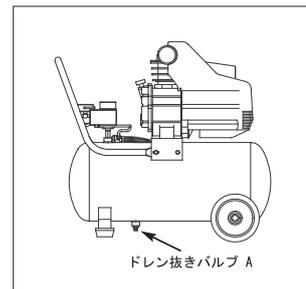
(圧力計C参照)

● 反時計回りにノブを回す・・・吐出圧力が下がる。

(圧力計C参照)

※ 圧力調整つまみBのノブを回し過ぎると軸を破損するおそれがあります。必要以上に回し過ぎないように注意してください。

図9



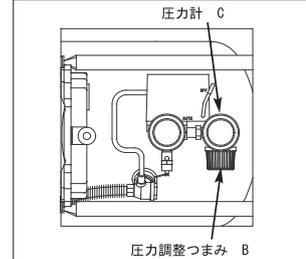
⑤ 停止

電源スイッチを「OFF」にしてください。(図6参照)

電源プラグをコンセントから抜いてください。

ドレン抜きバルブAを徐々に開き、空気タンク内のエアーを完全に抜いてください。この時、ドレンも排出されます。

図10



▲ 注意

●本商品の定格運転時間(モーターが連続で運転することが可能な時間)は60分です。60分使用後は、60分以上停止をしてください。定格運転時間を超えて運転すると、故障や発火の原因となります。

●コンプレッサの運転中は、絶対に傍を離れないでください。電源スイッチが『AUTO』の状態での放置は、異常に気が付かず、故障や火災につながる危険性があります。

●電源スイッチを『AUTO』としてもコンプレッサが起動しない場合、モーター保護装置が作動している可能性があります。詳しくは、『故障の原因と対策』を参照してください。

●安全弁は、空気タンク内の圧力が0.98MPaを超えないように強制的にエアーを排出する安全装置です。安全弁が作動した場合、故障の可能性がありますので、コンプレッサを停止し、お買い求めの販売店にご相談ください。

日常運転の管理

◇ 運転開始

運転前に必ずオイル量を確認し、不足している場合は給油（7ページ参照）してください。

◇ 運転中

コンプレッサーの運転中は、操作部（運転スイッチ、ドレン抜きバルブ）以外の部分に触れないでください。

▲ 注意

運転状態の時は、操作部以外の部分に手を触れないでください。

※ 自動運転の場合、圧力降下により急に回転することがあり、回転部でのけがや高温部での火傷の危険があります。

お 願 い

吐出圧力が高い状態でエアースーツールの取付け、取外しをする場合は、取付け難かったり、取外しの際、勢いよく外れたりしますので、圧力調整つまみで吐出圧力を下げてから行ってください。

※ 運転中に異常音（カンカン音や通常と異なる音）や異常振動（目で見て明らかにグラグラする揺れが生じた時は、直ちにコンプレッサーを停止し原因を取り除いてから運転を再開してください。

お 願 い

直射日光にあたらない場所で通気性の良い場所でご使用ください。

夏期においても運転中、周囲温度が38℃以上にならないよう換気に注意してください。

※モーターの保護装置が作動し停止したり、故障や寿命低下を起こしたりする原因となります。

◇ 保管

作業終了後、コンプレッサーを保管する時は、

- 電源スイッチを「OFF」にし、電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。
- ドレン抜きバルブAを徐々に開き、エアとドレンを完全に抜いてください。

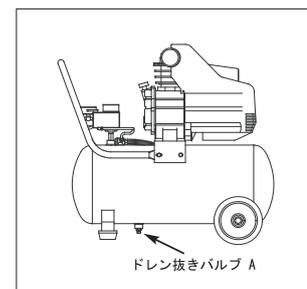


図11

▲ 注意

空気タンク内にエアが残った状態で保管すると、不意な衝撃等によりエアが噴出する事故につながるおそれがあり大変危険です。また、ドレンによる空気タンク内の腐蝕につながりますのでご注意ください。

▲ 注意

ハンドルはコンプレッサーを車輪にて移動するためのものです。ハンドルだけでコンプレッサーを持ち上げることは危険ですのでやめてください。

保守・点検

ドレン抜き

- 使用後は必ず空気タンク下のドレン抜きバルブを開き、空気タンク内にたまったドレンを抜いてください。
- ※ ドレンを空気タンク内にためておくとタンク内に錆を発生させる原因となります。

オイル交換

- オイル量は使用前に毎回確認してください。
- 初めて使用してから50時間後、オイル抜きボルトを外してオイルを抜き、新しいオイルに交換してください。次回からは100時間毎に交換してください。

吸込フィルター

電源コードをコンセントから抜いてください。エアーフィルターのフィルターカバーを手で回し、取外してください。エレメントの清掃を実施してください。汚れがひどい場合は、交換してください。50時間毎の交換を推奨します。再度、エレメントとフィルターカバーを取り付けてください。

図12

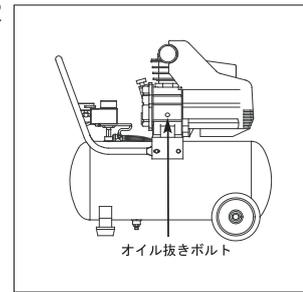
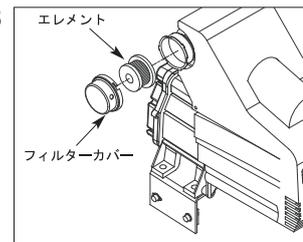


図13



基本仕様

形式	HX4004, HX4009
電圧	単相100V
周波数	50/60Hz
モータ出力	750W
電流値	14A
制御圧力	0.67~0.85MPa
定格運転時間 ^{※3}	60分 (60分使用後、60分以上停止)
吐出空気量 ^{※1} 50/60Hz	60/65L /min
空気タンク容量	30L
安全弁噴出圧力	0.98MPa
騒音値 ^{※2} 正面1.5m	80dB(A)
外形寸法 (W×D×H)	740×355×635mm
質量	30kg

※1 吐出空気量は最高圧力時に吐出する空気量を大気圧に換算した値です。

※2 騒音値は、全負荷時、無響音室での測定値です (お客様のご使用になる設置環境により騒音値は異なります)。

※3 定格運転時間とは、コンプレッサのモーターが回っている状態です。タンク内の圧力が所定以上となり停止している時間は含みません。

故障の原因と対策

- 万一異常が起こった場合には、下表を参考にご活用ください。
対策欄の※印は、専門のサービス店で処理することが望ましい内容です。

故障の状態	原因	対策
コンプレッサー が動かない。	モーター保護装置作動	注1)参照。モーター保護装置の作動原因を除いてください。
	オイルの入れすぎ	適量にする(7ページ参照)
	配線の断線	修理※
	電動機の不良	清掃または新品と交換※
	電圧が低い	電力会社に相談※
	周囲温度が低い(0℃付近)	低温によりオイルの粘度が上昇している。 周囲温度をヒータ等で温めてください。
	ドレン抜きバルブの締め忘れ	締め直す
圧力が 上がらない 圧力の上昇に 時間がかかる	各締付部・配管部の漏れ	ネジ部にシールテープを巻く
	空気タンクからの漏れ	空気タンクの交換※
	安全弁からの漏れ	お買いもとの販売店、または当社営業所に連絡
	弁部の空気漏れ	清掃または新品と交換※
	弁部の不良	清掃または新品と交換※
	圧力計の不良	新品と交換
	吸込フィルターが目づまり	フィルターの清掃または交換
異常音がする	設置不良	水平に設置(車輪の下に敷物をする)
	部品のゆるみ	部品取付ネジの締め直し
	圧縮機本体内部の摩耗	修理※
	カーボン堆積大	弁、ピストン部の分解点検※
オイル消費量の増大	オイル漏れ	修理※
	オイルの不適合	コンプレッサーオイルを使用してください。
	オイルの入れすぎ	適量にする(7ページ参照)

火災発生の恐れあり

モーター保護装置（プロテクター）の作動に関して

モーター保護装置は、モーター内部に設置されていますので、お客様が確認することはできません。

- モーター保護装置が作動し、コンプレッサーが起動しなかったり、運転中に急にコンプレッサーが停止したりすることがあります。この場合は、ご使用の環境やコンプレッサーに何らかの問題が発生しておりますので、必ずモーターの保護装置が作動した原因の確認と解消を実施してください。

※モーターの保護装置が作動した原因を解消しないで使用するとモーターが過熱し、火災を引き起こします。

- モーターの保護装置が作動した場合、電源スイッチをOFFとし、電源コードのプラグをコンセントから抜き、モーターを自然冷却してください。しばらくするとモーターの保護装置が自動的に復帰します（20分以上冷却が必要です）。

- モーターの保護装置が作動する主な原因は下記の通りです。

- ①低い電圧での運転による起動不良（細くて長い延長コードを使用して運転した場合や他の電気製品との電源を併用して運転した場合など）
- ②周囲温度の影響（高すぎる。または、低すぎる。）
- ③電源スイッチでの運転/停止を実施していない。
- ④過剰な条件での使用
- ⑤圧縮機本体やモーターの故障

保証

- 保証期間は、お買い上げの日から6ヶ月とします。
- 万一、故障の場合は、お買い上げの販売店または当社にご連絡ください。
- 無償修理は、当社にて現品を確認し、保証期間中、且つ商品の不良であれば対応いたします。
- 下記の場合は、保証期間中でもお客様のご負担（有償修理、有償点検）となります。
 - ・取扱説明書の注意事項を守らなかったことによる故障および損傷
 - ・お客様の取扱上の不注意による故障および損傷
 - ・お客様の使用環境や設置場所による故障および損傷
 - ・指定外の動力源（電圧、周波数、燃料、気体など）の使用、または天災、地変（火災、地震、水害、塩害、落雷、公害など）による故障および損傷
 - ・消耗による故障
 - ・純正部品以外の部品が使用されている場合
 - ・当社指定の修理店以外による修理がされている場合
 - ・お客様により、商品の改造・分解がなされている場合
- 本保証は日本国内においてのみ有効です。

This warranty is valid only in Japan.
- 商品の不具合による生産補償、営業補償などの二次的損失の補償は一切いたしません。
- 販売店が発行する証明書（販売証明書・レシートなど指定のもの）を本書と共に大切に保管し、修理の際は販売店と一緒に持ちください。

◆修理サービスについて

修理を依頼されるときは

- 修理はお買い上げの販売店又は当社にご相談ください。

この時にお買い上げの商品の形式およびお買い上げの時期をお知らせください。
- 修理品をお渡しの際は、本書も合わせてご持参ください。販売店、販売時期の確認を行います。
- 保証期間内でも、商品に不具合なき場合は、有償にてご対応させていただきます。
- 保証期間経過の修理は、修理により機能が維持できる場合、お客様のご要望により有料で修理いたします。
- 詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。

その他ご不明な点は当社へお気軽にお問い合わせください。

◆よくあるQ&A

- Q1. 「商品の調子が悪い。初期不良だと思う。保証期間内だから無償修理でお願いできますか？」
- A1. 「当社の修理センターで確認後、初期不良と認められた場合、ご対応させていただきます。ただし、初期不良でない場合は、有償となります。」
- Q2. 「保証期間内は全て無償ではないのですか？」
- A2. 「当社保証の内容は、取扱説明書の裏表紙をご確認ください。」
- Q3. 「修理見積もり料はかかりますか？」
- A3. 「お見積もり料は無料ですが、修理品をお客様に返却させていただくため、お客様（販売店様）と当社間の往復送料が必要となります。仮にお客様より返却せず処分をご依頼されても、お受けすることはできません。」

製品に関するお問い合わせ・修理・ご意見・ご希望などございましたら、当社営業所までご連絡ください。

アネスト岩田キャンベル株式会社

〒223-8501 神奈川県横浜市港北区新吉田町3176 TEL045-591-1108 FAX045-594-1931